

令和6年度：保育所における自己点検・自己評価

社会福祉法人 新世会 いくり保育園

令和7年3月31日 記入

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

◎ 保育の計画と編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向けて、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				前年度の反省をもとに具体的な目標設定をし、定期的な振り返りを行いながら保育を進めることができた。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4) 目標は前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				保育計画に沿って充実した保育にあたることができた。 環境構成については、準備がなかなか形にならないクラスもあった。さらなる努力が必要である。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行で良いか。	○				各クラス子どもの育ちに応じた保育を行うことができた。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				園の規模や年齢にあった行事の内容や開催方法、運営方法、また、感染症流行時の対応について見直しを行った。 保護者の意見をできる限り取り入れてはいるが、難しい部分もある。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に充分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画と編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
組織運営	(1) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				行事ごとの会議や日々の保育の打ち合わせを行う中で、時間を取りすぎることがあった。保育内容充実の為に、内容を絞り実のある時間となるようさらなる工夫をしていきたい。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設運営にかかわっているか。		○			
	(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		○			
	(4) 職員の意見を聞いたり、話し合う機会を定期的に持っているか。		○			
保健・安全	(1) 避難訓練・交通安全指導を行い、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				警察・消防・市役所等の関係各機関の協力を頂きながら連携を図ることができた。
	(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
	(3) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係各機関等と連携を図っているか。	○				
	(4) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
食事	(1) 子ども達が楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか。	○				クッキングや芋パーティ、野菜の苗植え、収穫等様々な食育の取り組みを行った。 アレルギー対応は、委員会と連携し、各クラスでの細やかな対応を行うことができた。
	(2) アレルギー疾患などを持つ子に対し、主治医からの指示を得て適切な対応を行っているか。	○				
	(3) 間違いのないよう個別のトレーや食器等で分け、調理員同士や保育士と確認している。	○				
環境	(1) 園内の清掃がなされ、清潔に保たれた環境で子ども達が心地よく過ごせるように配慮しているか。	○				毎日の保育室の清掃に加え、玩具の消毒や安全点検を徹底し、十分な配慮を行うことができた。
	(2) 園内外の衛生面・安全面に配慮しているか。	○				
	(3) 園内に子ども達が季節感を味わえるような工夫をしているか。	○				
園内外の研修	(1) 各研修会・講習会への参加体制の充実を図っているか。	○				園内研修の充実を図り、委員会と連携して、多くの研修を行うことができた。 行事との兼ね合いで日程の調整に苦労することもあったが、来年度も工夫して行っていきたい。
	(2) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
子育て支援	(1) 送迎の際の対話や連絡事項の記載など日常的な情報交換に加えて、別の機会に相談に応じて個別面談を行っているか。	○				個別相談の機会は年2回設けることができた。また、職員会議等を通じて関係職員と情報交換や共有を行うこともできた。
	(2) 家庭の状況や保護者との情報交換が必要に応じて、関係職員に周知されているか。	○				
	(3) 保育士は日々、子どもや保護者の様子に注視し、虐待の予防や早期発見に努めているか。	○				
	(4) 予め年間行事の目標を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
地域との連携	(1) 地域の関係機関等と連携ができているか。	○				ボランティアや保育体験の受け入れを行うことができた。 地域の方々とのイベントを通しての交流の機会は持つことができなかったが、近隣施設への買い物の機会を作り公共の場での過ごし方などを体験することができた。
	(2) イベントや祭りなどを通し、地域の方々と交流できる機会を設けているか。			○		
	(3) ボランティア・体験保育の方を積極的に受け入れているか。	○				
	(4) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
開かれた保育所づくり	(1) 地域子育て支援センターとして、園庭や保育室を開放しているか。				○	園だよりや保育ドキュメンテーションで園の様子を発信することができた。 また、ホームページを活用し、園の様子や取り組み等を毎月発信していった。
	(2) 地域の子ども達同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか。				○	
	(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
	(5) 園だより・ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				
	(6) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
	(7) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	
	(8) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○				